

12月7日

会員選考に第三者関与

学術会議法人化 政府が修正案

日本学術会議の在り方を検討する有識者懇談会（座長・岸輝雄東京大学名誉教授）で政

部有識者を含むひとま

す。

政府は先の通常国会で、第三者による「選考諮詢委員会」を設け、会員人事に介入する改正案を提出しようとしましたが、学術会議や国内外の科学者から学術会議の独立性を損なうとの懸念の声があがり、法案提出を見送った経緯があります。30日に示した修正案ではむしろ、外部有識者を含む「選考諮詢委員会」（委員は会長が任命）を設け、学術会

議の組織・運営が必要な意見を述べることを提案しています。財政基盤についての外部資金を得られるようにした上で、国が必要な財政支援を行うとしています。

懇談会は、年内も一定の方向をまとめ方針を示しています

す。学術会議側はの日で、政府案について議開催予定の臨時総会で、論する見通し。